

生誕150年記念

鈴木空如筆

法隆寺金堂壁画展



主催 秋田県 大仙市
後援 聖徳宗総本山 法隆寺
関西テレビ放送

Suzuki Kuunyo
The 150th Anniversary of Birth
Murals from
Horyuji Temple's kondo Hall, copies
by Suzuki Kuunyo

令和5年 11月3日~16日

法隆寺 聖徳会館

※入場：午前9時30分～午後4時
※館内：入場無料



聖徳会館周辺の地図
Map around shotoku Hall



特別展の最新情報
(on the Twitter)
The latest information
on special exhibitions



Wall No.9 a lion

©DAISEN,AKITA,2023.

開催にあたり

生誕150年を迎える鈴木空如、彼の画業は法隆寺金堂壁画を焼損前に原寸大で三度にわたり模写したこと、さらに仏画の名品を数多く模写し後世に伝えたことがあげられます。これらの画業から空如は「信仰と芸術を一体にした最後の人」と評され「現世の聖」とも称されています。

本特別展では、空如の最大の画業である「法隆寺金堂壁画」十二点(三作目)とその抜き写しを公開し、焼損前の法隆寺金堂壁画を法隆寺・聖徳会館内で再現いたします。



九号壁弥勒浄土図から抜き打ちの様子(1932年撮影)

空如略歴

- ・1873(明治6)年2月25日 現在の秋田県大仙市太田町小神成の旧家の三男に生まれる。
- ・1894(明治27)年 日清戦争に出征、清国盛京省、台湾を転戦、1895年10月に帰還。
- ・1898(明治31)年 東京美術学校日本画選科に入学し、古画の権威山名貫義に師事、1902年に卒業。さらに、同校研究科に進学して1904年7月に修了する。
- ・1918(大正7)年2月 坂井なを(29歳)と結婚。
- ・1920(大正9)年2月24日 長女豊子出生。
- ・1922(大正11)年 法隆寺金堂壁画原寸大模写完成 (模写1作目)
- ・1925(大正14)年10月28日 豊子夭折。
- ・1932(昭和7)年 法隆寺金堂壁画原寸大模写完成 (模写2作目)
同年3月4日～7日、朝日新聞社文化事業部主催「鈴木空筆 国宝名画模本展覧会(新宿三越百貨店)開催。
- ・1936(昭和11)年 法隆寺金堂壁画原寸大模写完成 (模写3作目)本展示出陳
- ・1946(昭和21)年7月21日 姪が経営する箱根湯本・吉池旅館で逝去。享年73歳。
- ・1949(昭和24)年1月26日 法隆寺金堂火災、壁画焼損する。同年、協和銀行本店(東京・芝大門)で「空如遺作法隆寺金堂壁画模本展」開催。
- ・1966(昭和41)年7月 地元の有志らが顕彰碑「法隆寺宝壁の真を伝えた空如画聖の碑」を建立(太田町長信田小学校校庭)。



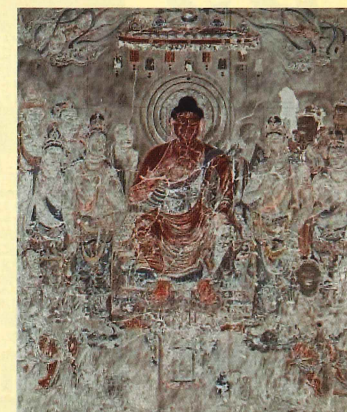
鈴木空如筆 法隆寺金堂壁画 第一号壁 釈迦浄土図(三作目)



鈴木空如筆 法隆寺金堂壁画 第六号壁 阿弥陀浄土図(三作目)



鈴木空如筆 法隆寺金堂壁画 第九号壁 弥勒浄土図(三作目)



鈴木空如筆 法隆寺金堂壁画 第十号壁 薬師浄土図(三作目)



鈴木空如筆 法隆寺金堂壁画 抜き写し 第十号壁諸尊

お問い合わせ

秋田県大仙市 観光文化スポーツ部文化財課

☎ 0187-63-8972 ✉ kyouiku-bun@city.daisen.lg.jp